

2019年 7月 14日 《聖餐式》

主 日 礼 拜

司 会
奏 楽
祈 禱
賛 美
使徒信条
聖 書

①8時半 ②10時半 ③19時半
①石井師 ②白川 達男兄 ③石井師

①石井師 ②小山美枝子姉 ③石井師
聖歌546番 & ～み手をのばして～

①マルコによる福音書2章1～5節
②ガラテヤ人への手紙5章16～25節
永楽教会ホサナ聖歌隊

①「主の臨在の中に入りなさい」大川従道牧師
②「聖霊様と共に歩もう！」石井 潤牧師
賛美「主イエスの十字架の血で」
聖歌229番「おどろくばかりの」

〔献金当番：和田姉・青木姉〕

【司会】

聖 餐 式
献 金
祝 禱
お知らせ
賛 美

～主イエス神の愛～

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日午後1時～、執事会を行います。（本日の昼食はありません）
2. 今週の祈祷会：☆早天祈祷会、明朝6時～。☆木曜午前 10 時半～、夜7時半～、末富氏夫妻（大和祈祷会映像）。☆準備祈祷会、土曜夜8時。
3. 木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。
4. 来週の日曜は「ファミリーの日」のため、礼拝後の昼食はありません。
5. 半年守られたことを感謝して「上半期感謝献金」をお献げ致しましょう！

7/20(土):バイブルスタディ(小山姉宅2時) 5(木):WOGA 28(日):聖歌隊

[illegible]

「聖霊様と共に歩もう！」

～聖霊に導かれて歩むとは～

「しかし、聖霊に導かれる者は、聖霊がすばらしい実を結ばせてくださる。それは、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制であって、こうしたものに反対する律法は一つも無い。」

ガラテヤ人への手紙5章22・23節〔現代訳〕

本日のテーマは「聖霊に導かれた生活を送る」ということについてです。この世界は、私たちが実践していくことが最も難しい世界であると思います。

今まで、「律法」vs「恵み」ということを比較しながら見てきました。私たちは自然の感覚の中で良い人間になろう！と願って生きていこうとしたら、どうしても、律法的になってしまう存在ではないでしょうか？目標があって、その目標の存在になろうと努力し、それに反することをしてしまったら、自己嫌悪に陥ってしまい、自分を裁いて、落ち込んでしまいます。それは、律法的に生きている証拠です。イエス様はそんな人間を解放するためにこの世にきてくださり、十字架のお苦しみを経験してくださいました。だから、私たちは、そんな生き方をすることから解放されたのです。では、良い人間になろうとしてはいけないのでしょうか？決してそんなことはありません。問題は、その方法、方向が間違っているということです。私たちが目指すべきものは、自分が設定した良い人間になることではなく、主の御心にふさわしい者となるということです。そのためには、私たちの目標となる方向が、自分自身ではなく、主ご自身となります。そして、その結果として、愛から始まる9つの実を实らせる者になれるということです。

神様の願いは、私たち自身が紆余曲折しながらであっても、自分の意志を持って、神様の御心にかなうような存在に変えられていくことです。そのためには、少々落ち込んだり、失敗したりすることもあるでしょうし、罪との闘い、悪魔との闘いを通して初めて目が開かれることもあるでしょう。しかし、最終的には私たちを待ち続けておられる天の父の懷に身も心も飛び込んでいくことを願っておられます。「神は、神を愛する者たち、すなわちご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている〔ロマ8:28〕」。

クリスチャンのことをそれ以前は、「道の者」と呼んでいました。「道」とはイエス様であり、「道」のもともとの意味は「踏みつけられるもの」という意味があります。私たちが立つべき場所は主ご自身であって、自分自身の上に立っているわけではありません。世の中は「自分を信じて」とか、「自分に勝つ」とか自分しか信じられるものはないとしか教えません。しかし、私たちはそれとは大きく違い、自分がいかに危なっかしい存在であったとしても、いつでも変わらず、確信をもって輝いて生きていくことができる道を有しているのです！